



会長就任のご挨拶

紫緑会会長 島 浩人

(京都大学医療技術短期大学部理学療法学科 1987年卒業)

卒業生の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

今年度より2年間、会長を務めさせて頂くことになりました医療短大時代の理学療法学科3期卒業生の島と申します。3度目の会長ということになりますが、正直言って、社会情勢や卒業生の同窓会に対する意識などの変化が大きく、今後の同窓会活動に重荷を感じています。今までにない新型コロナ感染の問題があり、全世界が緊迫した状況にあります。緊急事態宣言からの経済の落ち込み、学校も休校となり、授業が再開してもWebでのリモートで行う状況がほとんどです。母校も未だにリモートで授業が続いており、とくに新入生の顔も直に見られない前代未聞な状況です。今年度、大学に後援をして新入生歓迎会をする予定を立てていましたが、それもこの状況の中、見合わせることになりました。新入生にお会いする機会もなく、同窓会会費の納入のお願いなどが直にできず、徴収が難しくなっています。また会報を出すにも会議を行う必要がありましたが、例年より1ヶ月遅らせて3密を避けた状況で行いました。

皆さんは医療従事者がほとんどだと思いますが、感染対策で何をすることも制限や余計な時間がかかり、円滑に行うのが難しくなっているかと察します。どうか、くれぐれも感染に気をつけて過労にならないようにして下さい。

紫緑会は医療技術短期大学の頃からスタートして、医学部保健学科として四年制になってからも、入学時からの会の門戸を開き、入会して頂いております。さらに前進校でありました京都大学医学部附属看護学校と京都大学医学部附属臨床検査技師学校のそれぞれの同窓会を統合した同窓会です。会報の発行、また各専攻支部で会報の発行や懇親会などの催し、情報交換の場の一つとなっています。

私の個人的な話で恐縮ですが、このようなコロナ問題で医療業界だけでなく、飲食業、ホテル業、観光業など様々な業種が緊迫した情勢の中でも、同窓生のつながりで職場の感染管理体制を聴くことができました。また、同窓生以外の友達からも品薄中であつたマスクや消毒液を寄付してくれたり、弁当を届けてもらったりしました。本当にありがたいことであり、癒やされ、勇気づけられ、人との交流がどれほど大切であるか、改めて考えさせられました。

感染拡大予防の観点からは、人との接触を極力避けなければなりません。SNS やリモートなど形態は変化しますが、さらに交流を深めて行くことがこれからの自分と社会を左右していくと考えています。

紫緑会はそういった関係を少しでも築いていき、絶やさないようにする援助ができればと考えています。何かと至らない点多いかと思いますが、梶原前会長の功績を無にしないように二年間の任期を同窓会委員と共に頑張りたいと思います。

今後とも、紫緑会の発展のために、皆様の暖かいご支援のほど、よろしくお願い致します。